

# 校長室より

令和6年6月3日(月)

## 「修学旅行での出会い」



5月21日から23日の2泊3日の日程で今年度の修学旅行が行われました。今年もみなさんのたくさんの笑顔に触れ、みなさんとたくさんのおしゃべりをする事ができ、みなさんのよいところをたくさん見つけることができました。

修学旅行の1日目に外国の女性との出会いがあったので紹介します。たまたま浅草寺境内のベンチに座っていたら、一人の女性が私の隣に腰掛けたのです。

私「こんにちは。どこから来たの」

女「うふふ、ルーマニアよ」

私「すごいね。東ヨーロッパの素敵な国だね」

女「あなたは中国人？」

私「違うよ。日本人だよ。ところで、名前は何て言うの？」

女「イザベラよ」

私「素敵な名前だね」

女「そんなことないわ。ルーマニアでは珍しい名前なの」

私「イザベラ、日本には何しに来たの？」

女「私、旅行ガイドなの。10日間の日程で大阪、京都、そして東京を満喫してるわ」

私「へえー、そうなんだ。ところで日本はどう？」

女「とてもきれいな国だわ。ルーマニアもきれいだけど」

私「だから、イザベラもきれいなんだね」

女「ぎゃはは。私は自分の鼻の形がきれいな」

このあとも会話はしばらく続くのですが、イザベラさんは自身のつらい過去まで私に話してくれました。

私「もう時間だから、行かなきゃ。今日はイザベラと話ができてとてもうれしかったよ。またどこかで会えるといいね」

ご主人を数年前に亡くされた彼女に気の利いたことが言えず、悔やみました。